

2022.07.24. 携拳を待ちながら

ヤコブの手紙 5 章 7～9 節

JD ファラグ牧師

先週の続き、ヤコブの手紙 5 章 7 節からです。私が読みますので、ついてきてください。おっと、私とその箇所を開かないとね.....それでは、準備はいいですか？（会衆：はい）全然説得力がありませんでしたね…。－(笑)－ ヤコブが聖霊によって、こう書いてます。

ヤコブ 5

**7 ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。**

**8 あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。**

これ（主が来られる時）は、2 回目です。もう 1 回ありますよ。

**9 兄弟たち。さばかれることがないように、互いに文句を言い合うのはやめなさい。...**

翻訳によっては、「互いに不平不満を言うな、兄弟姉妹たち。」と訳しているのもあります。

**...さもなくば、さばかれます。**

見なさい。（3 回目→）さばきを行う方が戸口のところに立っておられます。祈りましょう。よろしければ一緒をお願いします。

天の父なる神よ。あなただけが御出来になる通り、そして、いつも忠実であられるように、聖霊によって私たちの心を落ち着かせ、思いを集中させてください。

主よ、どうか私たちの注意を引き、私たちの思いを保持させて下さい。それをするのは私ではなく、それは今日、私たちの前にある聖なる御言葉に相對して聖霊の御働きです。

主よ、カポノが祈ったように、あなたは、私たちに知らせたい、見せたい、聞かせたい、受け取らせたい何かがあります。この時間をあなたに委ねます。どうか、そうしてくださるよう、ただただ、お願いします。あなたが私たちに見せようとなさるものを示してください。あなたが私たちに聞かせたいことを私たちの人生にお語りください。私たちがあなたの御言葉を心に留め、忠実でありますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日お話しするのは、私の好きな話題です。皆さんも好きですよ？「携拳」です。

でも、もっと具体的に言えば、私たち自身の焦りや倦怠感といった傾向、またこれについてはどうでしょうか。主の来臨を待ち望む中での私たちの不平不満について。今日、私たちの前にある箇所について主を求め、実に与えられた示唆が、主の私たちへの今日の御言葉は、携拳に関し、携拳の緊急性、主の来臨の間近さ、主が戸口のところにられる事です。つまり、本当に、そういう箇所なのです。ヤコブは、教会携拳が差し迫っていることを踏まえ、まさにこの問題を取り上げています。ここで理解すべき重要性は、「ヤコブの手紙」は、新約聖書の最初の書ですよ。クリスチャンが信仰によって歩むこと、信仰において生きることを勧めるため書かれた書です。そういう励ましを 3 つ見つけました。皆さんはもっと見つけるでしょうが、主の来臨を待ち望む私たちを励ます言葉が、3 つ以上あります。使徒パウロが、聖霊によってテモテに書いた手紙を思います。良い戦いを戦い抜き、人生のレースの終わりに近づいたとき、彼はもう時間の問題である事を知っていて、その考えは正しかったのです。彼はテモテに手紙を書き、基本的にこう言います。

**「あとは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。」(II テモテ 4:8)**

私(パウロ)だけではなく、主の来臨を待ち望み、切望し、うめき声をあげている全ての人たちに。リストにはもっとあります。皆さん空欄を埋め下さい。主の来臨にです。これは聖霊の導きだと思いますので、お付き合いください。「ローマ人への手紙1章」だと思いますが、非常に力強い章ですよ。教えた内容は覚えています。私は「ローマ人への手紙」全体を通して教え、全編、全教えの中で涙しました。恥ずかしくて、教会礼拝後すぐに帰りました。ただ非常に強烈で、被造物全体がうめき声をあげ、神は、女が女に、男が男に欲望する者たちを、ご自分を押しつけようとされず、情欲に引き渡されます。ただ主の来臨にうめき声を上げている。ペテロでさえも、それについて語ってます。被造物全体が、、ほとんど今と同じような感じです。ちゃんと耳を澄ませば、、何人かの方は、こんな感じで見ておられます。「わお～、牧師さん、血迷っていますよ。今、それが聞こえるの？」私は、そんな感じです。私は、主の来臨を待ち望む全被造物のうめき声を聞いているような気がするのです。さて、まずは7節からで、これは、皆さんには全く関わりがないことなので、あくまで理論的な話です。「耐え忍ぶ」さて、ヤコブがここで使っている農夫の例は、彼らの心に強く響いたことでしょう。つまり、ヤコブは農業社会一員の彼らに語りかけます。農夫なら、しなければならぬことだから彼らは、主の来臨を忍耐強く待つようにという励ましを理解したでしょう。農夫は、作物が実ること、雨が降ることを待ち、働き、忍耐強く、見守り、信じ続けなければならないのです。農夫が忍耐強く、信仰によって”忍耐強く” 忍耐強くですよ、収穫を待たなければならないように、私たちも、忍耐強く携挙を待たなければなりません。私たちはただ、ラッパが鳴るのをただ黙って座っているのではありません。そうではなく、主が来られるまで、私たちは神の事で暇な時間はなく、忙しくするのです。

聞いてください。私は非常に小さな農業の街で育ちました。小麦が主な作物でした。非常に小さい街です。小さいと言うのを説明します。1980年、私の卒業したクラスは、、なぜそんな目で私を見るのですか？ さあ言いますよ？ いいですか？ 16人でした。(笑) あ～愛想笑いを、ありがとうございます。小さな、ごく小さな農村です。非常に小さな街で、通常、9月に学校が始まるのですが、ここ妻の出身地カイルアに引っ越し、学校が8月に始まるというのは私にとって異質でした。こんな感じです。

「7月末に学校が始まる？ どういうこと？」本土の、その小さな農村では9月です。もちろん、学年は6月頃に終わります。とにかく、小さな農村で、収穫が終わらないと、学校は始まりませんでした。学校の始業日を遅らせ、収穫のために休んだ日数分、夏の後半に学校を開くのです。私が何を言いたいかわかりますよね？ それは、主の来臨が近い切迫感です。イエスはこのように仰いました。

**「収穫の主は、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」(マタイ 9:38)**

なぜなら、これは生死に関わるからです。わずかなチャンスしかないのです。その期間に収穫しなければ、全てを失うからです。失います。その作物が魂であり、魂の収穫なのです。ですから彼らは、農夫に関連するこの活力を理解したでしょう。農夫は、何よりも勤勉な人たちで、非常に働き者です。何が興味深いかと言うと言い過ぎかもしれませんが、農夫は常に上を見ていました。天候を。お～これもイエスが仰いましたね。実は、もっと叱責の意味合いが強かったのですが。「あなた方は、空の雲を見て天気を判断し、嵐がやってくると言います。」

**「偽善者たちよ。あなたがたは地と空の様子を見分けることを知っていながら、どうして今の時代を見分けようとしないのですか。」(ルカ 12:56)**

彼らは、目の前に世の救い主、受肉された神がいるのに、それを見極められませんでした。勤勉で、彼らはいつも働いていました。私にジャガイモ農家の知人がいました。私が住んでいたワシントン州は、アイダホ州との州境に近く、アイダホ州はジャガイモの産地として知られています。本物のジャガイモの話です...ともかく、その辺はおいといて。今まで食べた最高のフライドポテトでした。しかし、ジャガイモを収穫する時期、その知人は働きづめでした。一日中、これ以上動けなくなるまで、働き続けました。トラックの中で眠り、早朝太陽が昇って、見えるようになると、また仕事を始めるのです。それほど大変な仕事です。非常に大変です。「何が言いたいのですか、牧師さん？」ええ、私たちも働き忙しくせねばなりません。私たちにも、取り入れる収穫があります。この農夫は働いていますが、見張っていてもいます。また、彼は信仰によって、忍耐強く待っています。皆さん、考えれば、まず作物の種を植え、次の日「作物はどこ？」と、農夫が出てきますか？ 植えたばかりですよ。忍耐強く待ちなさい。園芸の才がある方なら、ご存知でしょうが、何年も前、私たちは、アーバアバイティと呼ぶ木を植えました。素敵な低木で、垣根みたいになるよう、、、広い裏庭があったんです。びえ～ん。ハワイでは持っていません。とにかく、広い裏庭だったので、このアーバアバイティを53本植えました。兄弟に手伝ってもらって、成長した背の高いものは買えず、小さな60センチくらいの苗木を買いました。土に埋めるとさらに短くなって、そう、30センチほどが土の中なので、、、とにかく、これが裏庭のアーバアバイティで、忍耐力ある敬虔な私は、その木を見守りながら、垣根が必要で、成長して生け垣になる前に、携挙が起こるのでとは考えています。で、私はどうしたでしょう？ ミラクルグロー（生育材）を買ってきて、それを撒きました。説明書を読みませんでした。私は気にしないから、だから...。大量に撒いて、スプレーして、叫びました。「さあ、さあ始めよう！大きくなれ～！」毎日外を見て、「いや、まだだ.....」実はある日、前日よりさらに小さくなっているように見えました。いいえ、それを「忍耐」呼びます。待つしかありません。そう、それが問題なのです。私たちは待つのが大嫌いなんです。以前にもシェアしたことがあります。久しぶりなので、またシェアしてもいいですよ？（シェアするための）定まったの時間間隔があるわけではありませんが.....。私は素晴らしいデボーションに出かけました。そう、主との時間、主への賛美、賛美音楽、御言葉の中で祈りをしました。どうなるか分かりますよね？ 終わりたくないけど、仕事に行かなくちゃいけない。ですから終えて、私は車に乗る。まだ賛美の音楽が流れていて、私は運転している。とある車が割り込んできたんです。個人のナンバープレートがついていました。”H82W8”もう分かりましたか？ 神があなたに、ナンバープレートを通して語らねばならないなんて、マズいですね。「待つのは嫌だ」(H82W8)で、何が興味深いかというと、そこは、毎日通っている道です。私はその車を見たことがなかったし、二度と見ることもありませんでした。一警報音「OK。主よ、わかりました。あなたは、私の注意を引こうとされていて、忍耐強く、焦らず待つ必要があることをここで示そうとされています。」皆さんが待つのが嫌なのは分かりますが耐え忍んで待つことが必要です。8節の2つ目に繋がります。「心を強く保つ」です。これらはすべて密接に関係していて、今から見ていきますが、ヤコブは、忍耐強く主の来臨を待つことにあわせて、最も興味深い真理を引き出します。彼は、心を強くすることも話していますが、それは私たちの心の確立と強化の両方によって強くあり続けるという考えを伴います。ちょっと待ってください。質問があります。

質問：「どうやって？」

答えは、節の終わりにあります。主の来臨が近いから。

聞いてください。何かがそこまで近づいていることを知ると、

焦る気持ちを励ましませんか？ 主の来臨が近いことを知れば、待ち望むあなたの心を強くしてくれるのではないですか？ これは、使徒ヨハネがイエスからフィラデルフィヤの教会に書くよう言われた事です。この箇所は、「聖書預言・アップデート」でよく話します。7つの教会宛の手紙のうちの1つです。それがフィラデルフィヤの教会宛で、イエス・キリストがまもなく戻って来られる教会携挙まで、強くあり続けるという、まさにこの真理を語っています。「黙示録3章8節」、イエスは彼らを称賛されます。イエスの仰ることに耳を傾けてください。イエスは、彼らを励ましておられます。叱責ではなく、こう仰っています。

### 黙示録 3

#### 8 あなたには少しばかりの力があって、...

あなたは戦いに疲れ、かろうじて持ちこたえています。

... (しかしあなたは) **わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。**

イエスは彼らを励まし、そして10節と11節で続けてこう仰います。

### 黙示録 3

#### 10 あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、...

これは話しましたね。(わたしのことば) とは命令です。主の命令は重荷にならないので、私たちは命令であってほしいのです。聖書で命令があるときはいつも、それを可能にするものがセットです。神の命令、神の召命があるときは神の御力も付与されます。言い換えれば、神が私たちに何かをするよう命じられるとき、私たちにその命じられたことができるよう御力を与えられずには、決してなさいません。ですから、私たちはそれが命令であってほしいのです。命令なのです。「あなたはわたしの命令を守った。」私は命じられたのですか？ その命令とは何でしたか？ あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、あ～また出てきました。この事から逃れられませんよ。

### 黙示録 3

#### 10 あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている**試練** (患難) の時には、わたしもあなたを守る。

それが7年間の患難時代です。OK。主よ、ありがとうございます。シェアする許可を得ました。これは、多くの聖句の中でも、患難時代”前”携挙を証明する箇所として親しまれています。この聖書聖句をどう捻じ曲げて逃げようとするのか知りませんが、どのような翻訳や言語でこれを読んでも、同じことが書かれています。それは、全世界に起こる患難時代からあなたがたを守ることです。留意ください。この教会に対する励ましには、「7年間の患難時代後半からあなた方を守る」とは言っていません。「3年半の間だけ持ちこたえなさい。わたしはあなたをそこで救い出します。」ではありません！！

「地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時」です。これを聞いてください。興味深くないですか？ 患難時代”後”携挙説の信者が患難時代”前” (御怒り前) 携挙説の信者を攻撃し、その逆はない。彼らが皆、患難時代”前”携挙の健全な教義、理論ではなく「健全な教義」を攻撃する時、何を物語っているのでしょうか？ なぜ、患難時代”前”携挙説の人は患難時代”後”携挙説の人を攻撃しないのでしょうか？ なぜ患難時代”中間期”携挙説の人は患難時代”後”携挙説の人を攻撃しないのでしょうか？ たくさん出てきますね。ある人が、こう言っているのを、聞いたことがあります。「私は、汎患難時代説派です。」何です？「すべてうまくいくんです。」「本当に？」なぜ。。？ 皆さん、許してほしいのですが、なぜみんな、いつも患難時代前携挙を虐めるの？ それは何を物語っているのでしょうか？

それについては、いくつか思うところがあります。ショッキングなのはわかります。

1つの考えはこうです。それは患難時代前携挙の健全な教義を認証し、検証するからです。次に、そう考える理由は、それが本物だからです。偽物は、本物を認証します。これが、70ドル札の偽札を見かけない理由です。なぜか？ 70ドル札の本物が存在しないからです。

では、質問に答えましょう。なぜみんな、患難時代”前”携挙の「健全な教義」を攻撃するのでしょうか？それが、本物と認証される健全な教義だからです。だから偽物があって、それがかえって本物を認証します。それが答えです。多分、私は ..... 私が間違っていたら正してくださいよ。やるなら穏やかに、優しくお願いします。患難時代”後”携挙説派が、患難時代”前”携挙説派や他の誰かに攻撃されているという話はまだ聞いたことがありません。いつも誰もが患難時代”前”携挙説によってたかる。言ってみただけ～。  
ー(笑)ー

さて、11節はもっと良くなりますよ。続けて仰います。

### 黙示録 3

#### 11 わたしはすぐに来る。...

いくつかの翻訳では、この単語を「即」と表現しています。繰り返しますが、お話ししてきましたね。初めて聞くかもしれない人のために、シンプルに説明すると、こうです。ギリシャ語の「tachos」で、車の「タコメーター」の英語の語源です。「RPM」です。時間設定1分での測定器です。1分間に何回転するか測定、RPMです。これで節の全体像が変わりましたね？ なぜなら、イエスが言われているのは、「物事が加速し、回転が上がっている時に、わたしは来る。」という意味です。「だから、頑張りなさい。耐え忍びなさい。あなたは今.....あなたの力が弱っているのは分かっています。でも、わたしはすぐに来る。」主がもういつでも来られることを知っていることが、あなたを強くしませんか？ 励みになりませんか？ 聞いてください。いつでも（携挙が）起こりうると知りながら忍耐すれば、流れを変えます。「私は耐えられます。私は持ちこたえられます。なぜなら、あなたはすぐにやって来られるからです。」

...あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。

9節は、最初読むと曲がり角的で、一見すると合っていないように見え、でも、合っています。私たちは、それを望まないかもしれませんが、不平不満を言うことと関係があります。「文句を言わない」文句を言うのは止めなさい。不平不満を言わない。ブツブツ言わない。兄弟姉妹に互いに対して。ちょっと待ってくださいよ。なぜ聖霊はヤコブを導き、教会携挙での主の来臨という文脈に不平不満の問題を入れたのでしょうか。よくぞ聞いてくれました。皆さん、聞きましたよね？

では、お答えします。第一に、ヤコブがここで書いている事の重要性は、いくら強調してもしすぎることはありません。お付き合い下さるなら、その理由を説明します。私たちが自分自身に正直なら、焦りは不平不満とセットだと認めざるを得ないと思います。それを一緒に考えましょう。私たちは、どんな時に、文句を言いやすくなりますか？ イライラしている時、焦っている時です。それが理由です。

別の質問です。神は常に聖霊の「ご方法」と、聖なる御言葉の「何」をセットにされるので、それが、私たちへの命令であって欲しい理由です。神の召しや神のご指示は、神は、私たちに御力を与えることなしに、御言葉で何かを命じたり、戒めたり、励ましたりすることは決してなさいません。だから分かるのです。それについて考えてみてください。神.....これは適切な英語ではありませんが、神は、それをしない事が御出来になりません。それをすると、不従順の当事者になってしまわれるので主のご性格と矛盾してしまいます。もし、神が私たちに失敗させたとしたら.....それは神というご存在と矛盾します。神は、

私たちの生活、神との歩みの中に、私たちが従順になれるような環境をいつも作ってくださるのです。主は私たちを決して失敗させるようなことはなさいません。ですから、もし神が御言葉の中で命じたり、戒めたり、励ましたり、私たちに忍耐するように、不平を言わないように、心を強く保つように言われるなら、それを忠実に行うための「方法」をも教えてくださいます。神が、こう言われないのは、嬉しくありませんか？「文句を言うな！わたしは神だ。わたしがそう言っているのだ！」わかりました。いいえ、これは、実は私の大きな悩みでもあるので、方法を知りたいのです。私のことであって、皆さんのことではありません。繰り返しますが、皆さんがこんなことをしないのは分かっています。では、どうすれば私は文句を言わなくなるのか？ 答えは、節の最後にあります。「さばきを行う方が戸口のところに立っておられます。」こんな感じです。主が、今にも来臨されると知ると、自分の焦る気持ちを変え、もう少し待てます。私は、それがとても、とても、とても、とても間近に起こりうるのを知っているのでもはや焦りません。心を強く保てます。「なんというか、しがみついています。」「待って、主は戸口におられます。」それが変えます。それは、私の心を強くします。主はもういつでも来られるので、心が励まされます。もうちょっとだけ頑張る。物事は加速している。そう、私はギリギリでしがみついている、力は弱く、戦いに疲れている。しかし、主はもういつでも来られる。私は耐え忍び続け、頑張る。主はもうすぐ、即、来られるからです。

「では、牧師さん、不平不満の箇所、どう処理するのですか。そこはどうなんですか？」お～、質問です。もしあなたが、イエスが今日の午後、私たちを携挙されると知っていたら、それって素晴らしいですよ？ まず、家賃の支払いはいつ？ 迫ってるから、今日の午後なら最高ですよ？ ある人の言い方が好きです。「私の人生には、携挙で解決できない問題は全くない。そのあとは、無意味なことです。」しかし、もし、、、「もし」の質問です。もし、今日の午後、イエスが私たちを携挙されたら？ お～なんということ。心に響きましたね？ 何が変わるのでしょうか？

「じゃあ牧師さん、こんなことを言うと下を向いてしまいますけど、私は文句言いです。」—(笑)—  
私が、、、今、見上げて、指差さなかったのは良かったです。

「私は文句言いですが、もしイエスが今日の午後、私たちを携挙されると知っていたら、もう文句は言いません。もう何も文句を言うことはないですもん。」それがヤコブの語ることなのです。

「さばきを行う方が戸口のところに立っておられます。」主の来臨は戸口の所に来ています。イエスがまもなく、もうまもなく来られます。もういつでも起こり得ます。そしてそれが、私たちの生き方、特に焦りや倦怠感、今の不平不満に大きな影響を与えるはずです。

さてここで、私が取り上げないと大失態になる事があります。文句に関連して取り上げるのは非常に重要です。なぜ、このレベルに上げられているのか。つまり理にかなっていません。

「OK。心を強く保ち、我慢して、でも文句は言うな。」ですか？ なぜですか？ もしかしたら、もっと合ったものがあるかもしれないと思います。でも、なぜ？ なぜ、これなのか？ なぜこの文脈でリストに載せるレベルなのでしょう？ ありがたいことに、『民数記』を見ると一目瞭然です。悪評が多い書です。誰かに『民数記』について聞かれます。『民数記』ってなんですか？「数字です。」「とてもつまらなさそうに聞こえます。それ以外の何物でもありません。」この書を読んで、一緒に節ごとの学びをした人たち、お～なんということ。なんという書なのか！ 実は、12章、14章、16章の3つの記述に注目してほしいのです。そこを見るのを勧めます。12章の最初の2節から始めてください。

これは質問に答えるもので、聖霊の助けによって、教会携挙が近いという文脈にすべてが結び付けられ

ると思います。

では、ミリアムとアロンが出てきます。彼らはモーセの兄さんと姉さんです。「民数記 12 章 1 節」、

## 民数記 12

**1 そのとき、ミリアムとアロンは、モーセが妻としていたクシュ人の女のことで彼を非難した。(なぜか?)  
モーセがクシュ人の女を妻としていたからである。**

余計な話に聞こえますがどうやら、モーセの結婚を問題にしているようです。

「モーセは、エチオピア人（クシュ人）と結婚したぞ！」

**2 彼らは言った。「主はただモーセとだけ話されたのか。われわれとも話されたのではないか。」主はこれを聞かれた。**

あーあ。(苦笑) 待って、待って、待って。「あなたは、実に血のつながった弟に対して文句を言ってるのですか？ それは、キリストの兄弟姉妹に対して文句を言うのと同じことです。」そして主はこれを聞かれました。因みに「そして主はこれを聞かれた」とは、宜しくないという意味です。

「なぜなら、モーセはわたしのしもべです。つまりあなたは、兄弟のモーセに対して文句を言っているだけではありません。わたしがモーセを選んだから、あなたはわたしに文句を言っています。わたしはあなたたちの弟を召しました。それに異論があるのですか？ お～彼のエチオピア人（クシュ人）の妻も？」彼らはいつも妻を攻撃するのです。そういうの分かりますよね？ ごめんなさい、女性の方。でも男性方、そういう方法ってあるのでしょうか？ 何も言う必要ないんです。ただ、上から下まで見るだけです。お～そんな目で私を見ないでください。皆さん私が言っている事分かるでしょうか？ 彼らは、モーセの妻を問題にしたのです。何が起こるか知っていますね？ ネタバレですが、続きをお伝えします。やはり、「民数記」に時間をかけて、この記述を読むことをお勧めします。ミリアムはハンセン病にかかります。神が召され、神が選んだ兄弟モーセに対して文句を言うとは、神はかなり深刻に受け止められます。そして、モーセ。彼は謙虚な人です。私たちは、40 年間砂漠の裏側でモーセが神に召された話を知っています。砂漠だけでなく、砂漠の裏側です。神が、80 歳のモーセに召しを与えられ、モーセは何をしたのか？ 彼は言います。「主よ、それはとても古い祈りです。それは 40～50 歳頃の祈りでした。その船はもう出てしまい、そのファイルは閉じられましたよ。あなたは間違った男を捕えておられます。」と彼は神と議論します。彼は、神が召しを与えられる解放者として、用いられ、召されることを望んでいなかった。そうして彼は話し始めます。「私はもう喋れません。40 年間ここにいて、言語障害になりました。私が話したのは、羊だけで、めえええ～言葉さえできません。」ですから旧約聖書の至るところにあります。

「神はモーセに命じて、”アロンに”民に語らせた。」

「あなたが出来ないのは分かっています。でもあなたは逃げられません。」(出エジプト 4:10～16 参照)  
私が言いたいのは、モーセは非難されるような姿勢をとっていなかったということです。

「私は頼んだ覚えはない。この働き、神が語られる代弁者になる働きに自分から進んで申し出たのではない。」またすぐここで出てきますが、家系的です。モーセの従兄弟も同じことをします。民数記 14 章、私には本当に興味深いです。2～4 節を読みます。

## 民数記 14

**2a イスラエルの子らはみな、モーセとアロンに不平を言った。...**

お～、アロンよ、どんな気分です？ 形勢逆転。自業自得。

2b...全会衆は彼らに言った。『われわれはエジプトの地で死んでいたらよかった。あるいは、この荒野で死んでいたらよかったのだ。』

3 なぜ主は、われわれをこの地に導いて来て、剣に倒れるようにされるのか。妻や子どもは、かすめ奪われてしまう。エジプトに帰るほうがわれわれにとって良くはないか。』

4 そして互いに言った。『さあ、われわれは、かしらを一人立ててエジプトに帰ろう。』

これに対して、神がどういうご反応をされたかご存知ですか？ なぜこれが興味深いかという、実に衝撃的です。神がこう思われているからです。「もういい、おわりだ！ わたしは彼らを殺し、モーセ、あなたとやり直そうと思う。わたしはもう、、、彼らは終わりだ。わたしが彼らに与えようとした祝福と約束のすべてを、わたしはあなたに与える。」

今、私がモーセなら、「はい。それが良いと思います。そうしましょう。それは非常に良いと思います。」しかし、モーセはどうするのか？ そう神は、モーセがどうするのか知っておられました。そうでなければ……。ですから神は、私のような人間に、そういう召しを与えられないのは、私がそれを受け入れると知っておられるからです。いわば、主はモーセが申し出に応じないことを知っておられたのです。その代わりに、モーセは神に訴え、懇願します。

「あなたはそんなことお出来になりません、神よ。評判になります。エジプトに噂されます。つまり、あなたが私とやり直したいと思われていることに感動しますが、でもあなたは、そんなこと御出来になりません。」

神はモーセがそう言うことを知っておられました。主はすべてをやり直したかったのです。ただ、彼らを一掃したかったのです。ユーモラスな記述もありますね。これは、神がユーモアのセンスがあられると分かる多くの理由のうちの1つで、おもに、鏡を見るたびに、神はユーモアのセンスがあると思いますが、今回は、つまり、モーセと神の対話です。ちなみに12章に戻ると、神は、ミリアムと兄アロンに仰っておられます。

「わたしはあなたの弟に面と向かって話す。どうだ？」(民数記 12:8 参照)

ですから、神とモーセの会話が聖書のページに記されているのです。そして、二人は親のように行ったり来たりします。「あなたの民が」ママやパパが、「あなたの息子が、、」と言うとお～、今は、私の息子か？」なすりつけるのです。神は「あなたの民」と仰り、モーセは「いいえ、私の民ではなく、あなたの民です！」と言う。行ったり来たりして、自分は所有権を持たないのです。頼みますよ。皆さんも親としてやったでしょう？ 冗談でもいいからそうだと行ってください。とにかく、妻は何度も言いました。

「あなたの息子を何とかして！ なんせ、そういうのあなたの家族側よ。」もう慣れました。悪いのはすべて私の側です。しかし、この事で何度も行ったり来たりして、神は、、繰り返しますが、モーセの反応がどうかを知っておられました。モーセとアロンの2人は、神が民を殺すのをやめられるよう、民の代わりに何度執り成したのでしょうか。なぜ神は民を殺しておられたのか？ なぜなら、彼らは文句を言っていたからです。彼らは文句、ブツブツ言い、不平を言っているのです。神が深刻に受け止めておられるという印象がありませんか？ 多数あります。時間の都合上、3つだけ選びました。その1つは、民が文句を言っていたとき、神が火のついた蛇を送られ、彼らを嘔んで死に至らしめられたことです。(民数記 21:6)

モーセとアロンが、祈り、神に蛇を止めて下さるよう懇願すると、神は、モーセに旗竿を十字架の形に作り、青銅の蛇を置くよう言われます。それは十字架刑の予型です。ローマが十字架刑を考案するずっと以

前に。その十字架を見上げれば、民は救われ、癒されるのです。ちなみに、それは.....現代の医療の象徴は、その歪曲です。縦、横の旗竿で十字架の形。そこに青銅の蛇が置かれました。それが十字架の描写です。「民数記 16 章 1-3 節」を読みます。これは、、、私のちょっと違うユーモアセンスを許してほしいのですが、私が一番好きな所です。このようなことが起こったときに神が何をしてくださるのかです。

## 民数記 16

1 レビの子であるケハテの子イツハルの子コラ（モーセの従兄弟）は、ルベンの子孫であるエリアブの子ダタンとアビラム、およびペレテの子オンと共謀して、

2 モーセに立ち向かった。イスラエルの子らで、会衆の上に立つ族長たち、会合から召し出された名のあ  
る者たち二百五十人も、彼らと一緒にあった。

これらは役員、長老、指導者たちでした。

3 彼らはモーセとアロンに逆らって結集し、二人に言った。『あなたがたは分を超えている。全会衆残らず聖なる者であって、主がそのうちにおられるのに、なぜ、あなたがたは主の集会上に立つのか。』

何ですって？「言ったのではないか。この立場に自分から申し出ていない。私は、ここから抜け出そうとした。いろいろ試した。神は私を逃がしてくださらなかった。私は自分を高ぶらせていない。神が私を高めて下さり、この地位に置いてくださったのです。そういえば、私の兄と姉に話を聞いたことがありますか？」これもアロンに対してだから、アロンはどう思ったのでしょうかね。

「そう、神はあなたを通してだけ語っておられるわけではない。自分を何様だと思ってるのか？ 偉そうに。神は私たちにも語りかけてくださる。なぜあなたは.....自分ばかりなのか。あなたは主の集会で自分を高くあげている。」

繰り返しますが、だからこそ私のお気に入りなのです。ユーモアを交えて説明しますが、モーセは謙虚な男としてこう言いました。「ではまず第一に、大変年を取っています。どうやらあなたたちは私に問題があるようだから、これを解決する必要があるというのか？ しかし、あなたの問題は私ではない。なぜなら、神は私を召し、高め、選び、私を通して語られるお方だからです。だから、もし私に問題があるのなら、実はあなたの問題は神にあることになる。」

ちなみに、これはエデンの園からです。これが、私たち一人一人の中にあるアダムの罪の性質です。

罪がこの世に入り、神がアダムに

「**あなたは何をしたのか（創世記 3:11)**」

と問われた時、主はアダムが何をしたのか知っておられますよ。そして、彼らは隠れています。で、アダムはどうするでしょう？ 彼は、、、 そうそう、皆さん彼が何をしたか知っていますね？ アダムは妻のせいにしていながら、本当は妻を責めていません。

「**あなたが与えた女のせいです。（創世記 3:12)**」

夫の皆さん、奥さんに対して、絶対言わないでください。もちろん主に対してもです。なぜなら、その言い方は、実は妻に対してではなく、あなたが与えて下さった妻。強調するのは「妻」ではなく、「あなた。あなたの失敗です。」神のせいにするのですか。そして、エバ。さらによろしくありません。エバはどうするのか？ 彼女は、「ええ、実は、”あなたが”園に置いた蛇のせいです。あなたのせいです。なので神よ、この件を解決してください。アダムと私はこちらにいますので、解決したら教えてください。」

ー(笑)ー

それが彼らのした事です。実際に文句を言い、ブツブツ言い、神を非難しています。そして、神はそれを

軽んじられることはありません。そこでモーセは言いました、

「OK。これで決着をつけよう。明日の朝一番、この幕屋に集まり、神に決断を仰ごう。もしあなたが正しいなら、構わない。それなら、私はオアフ島に帰って、隠居しようと思う。そして、あなたがすればいい。しかし、神が誰を選ばれるか見てみよう。コラ（従兄弟）か、従兄弟...あなたは私の従兄弟だと思っていたのに...それとも私なのか。では、朝一番に。」

お～、私も本当にそこへ行きたかったです。コラがやってきます。高ぶって歩いてくるのを想像できますか？ 彼が集めた250人の従者たちもみんな高ぶっています。そしてモーセはこう言いました。

「主よ、私たちはただ...その、これを解決することができるのでしょうか？」それで神は仰いました。

「ええ、解決しよう。」(笑ってしまって) ごめんなさい。

地面が、大地が開いて、彼らを全員、ガバツと、ガバツと、飲み込んでしまうのです。(民数記 16:31～32)

モーセの気持ちが分かります。彼らは皆、滅びました。ああ、それ以上に悪いことがあります。真実は、モーセとアロンは「彼らを殺さないでください」と神に懇願し始めます。なぜなら、大地が開いて飲み込まれた後も、全員、まだ文句を言っていました。大地が開いて飲み込まれなかった者たちは、大地が開いて飲み込まれ彼らを殺した事をモーセとアロンに対して文句を言いました。そして、神はこんな感じで、、、私がモーセならこうなります。「そんなこと言うもんじゃない。」いや、あなたがたはそう言った。そこで、神は彼らを殺し始めます。これは素晴らしいデボーションです。子どもが小さいうちは抑止力になります。-(笑)- うちの子たちがトラウマになったのも無理はありませんね。私たちのデボーションの多くは、文句についての内容で、不平不満を言わない、人生は公平ではない、といったもので、歌も作ったんです。皆さん、聴きたいですか？ しばらく歌ってないので、いいですね？

♪世界は、あなたを中心に回っているのではない。人生は公平ではないのだ。ボンボンボン♪

♪世界は、あなたを中心に回っているのではない。-(笑)-

カポノ、何か音楽を添えてくれませんか？ 礼拝や賛美の歌というわけではありませんが、子どもにはいい歌です。-(笑)-

というのは、彼らがそう考えているからです。「それって不公平だ～！」私たちは墮落した世界に住んでいるのです。人生は不公平なものです。そして、ああ、世界はあなたを中心に回っていませんよ。あなたが全てではないのです。とにかく、脱線しました。今、気分が良くなりました。皆さんもですね？ この為によくの人が殺されたので、まだ問題が残っています。また、私のユーモアをお許してください。もし私がモーセなら、大地が開いて彼らを飲み込んだ後、こう言ったでしょう。だから神は私をモーセのように召されません。私なら言います。「他に誰か私に文句がある人いますか～？ -(笑)- 今すぐ話そう。これを解決するには、本当に良い機会だと思うよ～。」「いいえ、私は大丈夫。大丈夫です。愛してるぜ、モーセ。愛してるぜ、兄弟。」-(笑)- 繰り返しますが、好き嫌いは別にして、ユーモアだと考えてください。それでは、締めくくりに入りましょう。

私たちの質問の答えは？ 中には「質問は何だったっけ？」という感じです。文句を言うことと、我慢すること、強くあり続けることは、どう結びつくのですか？ お～、さばきを行う方が、まず第一に、非常に深刻にそれを取られる事、そして戸口のところにおられ、全ての文句を聞かれているのを知る事。ちなみに、共通項です。どれもこれも偽りの告発です。偽りの告発。実を言うと、彼らは自分たちが犯した罪をモーセになすりつけたのです。いつもそういう仕組みです。主は、謙虚な者を高め、高慢な者を謙虚に

されます。あるいは、高慢な者を殺し、大地に飲み込まれます。

とにかく、最後の1つ。しかし、これが要点です。あなたが知っているのと、、お付き合いください。

締めくくる前に、ここでちょっと、愛を持って、皆さんを炙りだします。しかし、さばきを行う方は戸口の外におられ、私たちが投稿したソーシャルメディアのすべての投稿を見ておられます。多分、あなたは、その時投稿することをよく考えるでしょう。さばきを行う方が戸口におられるから。そして、私たちが話したすべての言葉が裁かれることになります。不平不満がそのレベルなのです。実際、使徒パウロのあげたリストを見ると、性的不道徳、殺人、つまり、悍ましいことを話していて、その中に噂話も含まれます。ちょっと待って、パウロ。殺人や性的不道徳と一緒に噂話を含めるのですか？ ええ、だってほら、あなたは彼らを殺しているのですから。相手の人格を黙殺しています。私たちはこの話をしました。そのことには入りませんが、しかし、もしあなたが兄弟を憎み、文句を言い、ブツブツ言い、不満を言うなら、あなたは心の中で兄弟を殺していることになります。そして、噂話をする、基本的にこれを癌のように広めてしまうことになります。そして、そのかわいそうな人は.....ちなみに、これも言うておかねばなりません。もし誰かがあなたに誰かの陰口をたたくなら、その人は誰かにあなたの陰口をたたいていると断言します。OK。誰かがそうし出すと、私はとても心配になり、ちなみに会話を終わらせます。私は言いました。

「あなたが私に彼らの陰口を言うなら、私のことを陰で何と言ってるの？」

神はそれをととても深刻に取られます。神はそれをととても深刻に取られます。そして、さばきを行う方は戸口のところに置かれます。主の来臨は近く、携挙は間近です。それが私たちの互いに対する行動のし方を、互いの接し方を変えるはずで、それが私たちの行動や発言の全てに影響を与えるはずで、それはまた、私たちに強め、励ますもので、耐え忍び、忍耐し、持ちこたえる事。文句を言ったり、ブツブツ言い、責めたりする理由はありません。

「わたしは来ます。頑張るのです。」

そう結びつきます。カポノ、上がってください。ご起立ください。最後にお祈りして締めくくります。天の父なる神よ。私は最善を尽くしました。もう一度言いますが、私はただ聖霊がこの言葉を受け止め、主よ、あなただけがお出来になられる通り、そのプロセスを始めて下さるのを信じます。私も含め、私たちの中に大変な人もいるかもしれません。この言葉を私たちの人生に適用するプロセスを始めてください。時に難しい御言葉もありますが、良い御言葉です。それは確かに、私たちの耳に心地よいものではありませんが、私たちが聞くべきことです。そして、主よ、あなたの来臨が近いことを私たちは知っています。主よ、それがすべて変えて下さることを感謝します。主よ、早く来ててください。マラナタ。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7